

高校生による「一日財務事務所長」体験行事の開催 ～同時開催「世代を超えた財政に関する座談会」～

- ◆ 函館財務事務所では、財務局・財務事務所が行っている地域に密着した業務内容を紹介するとともに、財政の現状について幅広い世代の方で議論し、考えるキッカケを作るため、平成29年3月に初めての試みとして高校生による「一日財務事務所長(以下「一日所長」)」体験行事を開催。
- ◆ 財政教育を通じて交流のある市立函館高等学校の生徒を一日所長に任命し、国有財産・経済調査業務の一端を体験してもらうとともに、幅広い年代層の参加を得て開催した「世代を超えた財政に関する座談会」では日本の財政状況について、一日所長自らが説明。
- ◆ 今後も、今回の両行事開催に当たり協力を得た関係者との関係をより一層強化し、行事の継続的開催や広報活動拡大に向けた取組を行う。

1. 成果事例の概要等

○ 4名の高校生が一日所長に就任

当局・当所の業務に関心を持った市立函館高等学校の生徒4名(3年生1名、2年生3名)を一日所長に任命し、**所長として財務局業務を体験**。



一日所長の辞令交付

○ 業務体験

若手職員から業務の概要説明を受けた後、**国有財産売却地の視察や地域経済調査(函館国際観光コンベンション協会を訪問)を実施**。
地域経済調査では、担当者から最新の観光入込客動向や観光客誘致のための取組などについて熱心に聞き取りを行った。

○ 若手職員との交流

財務局業務の魅力などについて、**入所2～3年目の若手職員4名と昼食をとりながら交流**。大学進学や就職に向けての悩みごと相談なども話題に。



売却地視察



協会から熱心にヒアリング



若手職員との昼食会

○ 「世代を超えた財政に関する座談会」の開催

「国の予算を通じてこれからの社会について考えよう!」と題し、地元PTAや消費者協会の協力により、**子育て世代(6名)、年配者(3名)の参加**を得て座談会を開催。

一日所長から「日本の財政状況」について4つのパーツに分けて説明を行った後、**積極的な意見交換**が行われた。

2. これまでの取組の成果等

- **財務局の業務や日本の財政状況についての理解者が拡大**
→当行事を通じて、参加者のみならず、**マスメディア(新聞3紙)**でも取り上げられたことから、**多くの方へのPR効果があった**。

○ 参加者の声

【一日財務事務所長体験】

- ・楽しく勉強できたので、気軽に参加できるものということをもっとアピールして、今後も是非続けてほしい。

【世代を超えた財政に関する座談会】

- ・立場の違う方の意見を聞き、考えさせられる機会となった。
- ・今後も借金が増え将来世代の負担が重くなることを考えると、働いている世代にばかり負担をかけず、国民みんなで負担することを考えるべきと感じた。
- ・国は、財政状況を改善するため、税金があらゆることに使われていることを、もっと積極的に発信する必要がある。
- ・このような座談会を、更に参加者層を拡大して継続的に開催してほしい。

座談会の模様



3. 今後の課題と函館財務事務所の対応

＜今後の課題＞

- 広報効果の拡大に向け、実施内容の工夫、見直しを検討していく必要がある。

＜函館財務事務所の今後の対応＞

- 今回の開催に当たり協力を得た市立函館高等学校、函館市PTA連合会、北海道教育大学附属函館中学校PTA、函館消費者協会との関係をより一層強化し、行事の継続的開催や広報活動拡大に向けた取組を行う。

一日財務事務所長体験・世代を超えた財政に関する座談会など、草の根的広報活動の継続